

# 西光寺だより

第二三三号 令和二年十一月一日発行

早いもので十一月となり、日に日に寒さを感じる季節となりました。さて皆様、お気づきでしたでしょうか。今年の金木犀は一段と華やかであったことを。直径一センチにも満たない小さなオレンジの花が枝に密生させて咲き、強い甘い香りをあたり一面に届けてくれます。

遠い昔、秋の小学校の登下校時を通る路からどこからともなく漂う甘く香ばしい香りを思い出し、ただただ懐かしい気持ちにさせてくれます。まさしく季節を告げる花でしょう。花言葉は、強い香りに対して小さな小ぶりの花ということから『謙虚』そして、雨が降ると潔く花を散らすことから『気高い人』そんな由来があり、道に見事なオレンジの絨毯を敷きつめたようになっても美しいものであります。

今年にはコロナ禍の中ではありますが、花を見て香りを感じ、季節を思う、そんな自然の息吹を味わいながら過ごしたいものであります。

そして、十一月は親鸞聖人のご法事である報恩講の季節でもあります。皆さんのご自宅での在家報恩講、仏教婦人会報恩講を経て、西光寺の報恩講であります。

今年例年とは違い、多くの近隣寺院の住職方に来ていただき、煌びやかな衣をつけての法要ではなく、できるだけ僧侶の人数を減らしての法要を考えております。また、ご法話につきましても秋季永代経法要同様、昼のみのご法話にしていたく予定であります。

できるだけ近隣寺院との足並みを揃えつつ、感染予防をしながら、今年最後の西光寺での法要を皆さんと一緒ににお勤めさせて頂きたいと思っております。



合掌

## ◆先月の報告◆

十月一日（木）西光寺本堂にて令和元年度追弔会・秋季永代経法要を厳修致しました。お仲間を偲ばせていただき阿弥陀経のお勤め・お焼香をさせていただいた追弔会、そして正信偈のお勤めをいたしました秋季永代経法要、この度は昼のみといたしました。

また、布教の時間は本願寺派布教使の宮部誓雅師であり、春季永代経法要に予定していましたが、自粛の運びとなりできませんでしたので、今回お迎えしたことであります。

布教では、西光寺の報恩講が十一月にあるということもあり、親鸞聖人の幼少期のお話をしていただきました。

「明日ありと 思う心の仇桜 夜半に嵐の 吹かぬものは」災害や飢饉があり大変な時代に、親鸞聖人が九歳の時に仏門に入る際に詠まれたと伝わる和歌。

「今美しく咲いている桜も、明日には嵐が吹いて散ってしまうかもしれない」、親鸞聖人は、自分の命を桜の花に喩え、「明日自分の命があるかどうか分からない、だからこそ今を精一杯大事に生きていきたい」。どうなるかわからない無常の中に、今の尊さをこの和歌から教えていただきました。

そしてもう一つ、自業自得のお話もありました。

「自業自得」は悪い場合に使われますが、実は仏教から出た言葉であります。「業」の意味は、「行い」。インドでは「カルマ」といい、「自業自得」は、自分の行いが自分の運命を生むということでもあります。仏教では良い結果も悪い結果も自業自得と教えられます。

けれども、仏さまのお救いはこれをしたからこういう結果になった、という世の中の仕組みの中にあるものではありません。自分自身の行いに関わらず、理不尽なまでもすべての人を平等に救いとおつてくださる、おしはかれな

い救いの中にあるということをお教えていただきました。明日のことはわからないこの世界、自分の結果でははかれないこの世界、そんな中にこそ、仏さまの決して変わることはないお救いがあることに気づかされた時間でありました。

ありがとうございました。



## ♪お知らせ♪

今年度の念仏奉仕団についてお知らせします。

毎年十二月に茨木東組念仏奉仕団を実施していましたが、コロナ禍ということもあり、今年度は中止とさせていただきます。

茨木東組組会での話し合いでは、参加したいという声もありましたが、協議の結果中止となりました。平成元年から続いていた茨木東組の恒例行事ではありますが、来年にはまた皆さんで本願寺の清掃奉仕に参加できたらと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

浄土真宗本願寺派 白毫山 西光寺

大阪府茨木市西河原一七七一

電話 〇七二一六二二一四七九四

FAX 〇七二一六二二一九二九一

<http://www.osaka-saikouji.net/>

## ◆十一月・十二月の行事◆

・十一月 二十三日 (月・祝)

報恩講法要

午後二時 (昼のみ)

西光寺本堂

◎布教使 和氣 秀剛 師

※なお、感染症対策のため変更になるかもしれません。

ご了承のほどよろしくお願いいたします。

・十二月 三十一日 (木)

除夜の鐘

午後十一時五〇分

西光寺鐘楼

※なお、感染症対策のため変更になるかもしれません。

ご了承のほどよろしくお願いいたします。